

回 答 書

2025年3月13日
日本貨物鉄道株式会社

2024年度は「JR貨物グループ長期ビジョン2030」の方針のもと新たに策定した「JR貨物グループ中期経営計画2026」の初年度として、安全基盤の強化・安定輸送の追及、既存アセットを最大活用した輸送量の回復、不動産事業の更なる拡大と新規事業の展開などの取組みを進めてきました。

今年度の輸送動向は、「物流の2024年問題」や脱炭素に向けた動きを背景に鉄道シフトが進みましたが、昨年7月に山陽線新山口駅構内で列車脱線事故が発生し、その原因調査の中で輪軸組立作業の不正行為が判明しました。このことによる一時的な全貨物列車の運転見合わせや大雨などの自然災害による輸送障害により大幅な減収となりました。この結果、1月計画は4期連続の単体経常赤字の計画となり、また2月の雪害等の減収の影響により、連結経常利益の黒字確保も厳しい状況です。

環境特性に優れ労働生産性の高い貨物鉄道輸送は「物流の2024年問題」や環境問題といった社会課題の解決に貢献できる輸送モードとして非常に大きな役割を期待されております。この期待に応えるためには当社グループ社員の力を結集し、輸送量の拡大を図る取組みを進めていかなければなりません。

2025年度の新賃金については、厳しい要員需給の中で臨時列車の運転や災害対応、脱線復旧等に対応してきた社員の皆さんの苦勞と努力に報いるとともに、輪軸不正事象により失われた信頼の回復と「JR貨物グループ中期経営計画2026」に掲げた施策を社員一丸となって取り組んでいくことを期待し、以下の通り回答します。

1. 新賃金

定期昇給を実施すると共に、2025年7月1日現在（昇給前）の基本給に「2,000円」のベースアップを実施する。

2. 実施日

2025年7月1日とする。